

2014年7月10日
京都表具協同組合

「刷毛」と「動物」へ感謝を込めて

は け く よ う え
第57回 刷毛供養会 開催

～一般の方もお気軽に参列いただけます～

ベテランから若手まで京表具師85名が所属する京都表具協同組合（京都市右京区 理事長 田中 善茂）は、臨済宗大本山 南禅寺 刷毛塚前（京都市左京区福地町）にて、第57回刷毛供養会を執り行います。

我々表具師にとって、なくてはならない一番大事な道具「刷毛」。刷毛は、日々使うことによって毛先が徐々に磨耗していく消耗品ですが、毛の部分はタヌキやムジナ、ヤギなど動物の毛でできており、これらの動物の恩恵により「表具」という生業、すなわち我々の生活が成り立っているといっても過言ではありません。

使い切って役目を終えた道具としての「刷毛」に感謝し、「動物」たちの霊をなぐさめ、現在でも受け継がれている表具の技を伝授いただいた先達への敬意をこめて、昭和32年から毎年8月1日に「刷毛供養会」を執り行っております。

動物の刷毛をお使いなら他業種・一般の方々でも

今年で57回目を迎える「刷毛供養会」には、地元京都はもとより他府県からの表具関係従事者も参列いたします。その際、役目を終えた刷毛を持ち寄り、焚き上げて供養いたします。表具師が使う刷毛は、糊を塗るものや裏打ち（紙や裂地の裏面を和紙で補強する）の際に撫でたりするものになりますが、表具業界以外の業種、そして一般家庭においても使えなくなった刷毛・筆などが眠っているのではないかと考え、参列を公募として、表具業界以外の方にも間口を広げることにいたしました。

当日お持ちいただければ供養いたします。

供養したいものがあれば、当日受付までお持ちください。ただし、供養させていただくのは動物の毛でできているものに限り、ナイロンやプラスチック製のものはお引き受けできません。

なお、供養会后、南禅寺教学部長による講話もお聞きいただけます。境内を通過する琵琶湖疏水の水路閣や池の蓮をご覧いただきながら先人から後進へと受け継がれていく「刷毛供養会」へぜひ足をお運びください。（参加無料）

<第57回刷毛供養会>

日 時：平成26年8月1日（金）

供養会 午前10時～10時半（受付9時半より）

講 話 午前11時～11時半

場 所：大本山南禅寺境内 刷毛塚前

（小雨決行 強雨の場合の法要は南禅院にて（刷毛の焚き上げは中止））



本件に関するメディアからのお問い合わせ先
 京都表具協同組合 刷毛供養会事業部長：内藤 康博 広報部長：藤田 幸生
 〒615-0042 住所：京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館5階
 TEL:075(314)5700 FAX:075(313)1120
 ホームページ:www.kyo-hyogu.jp/
 e-mail: kyoutohyogu2007@yahoo.co.jp